

ひまわり

清瀬には毎年、黄色い笑顔が咲き誇ります。

今年も8月6日(火)～8月13日(火)に「清瀬ひまわりフェスティバル」が開催されるといいます。約 24000m²に、10万本のひまわりが出現するといえますから圧巻です。地元の農業者の方々またその関係者の方々に感謝です。

また13日には、清瀬市社会を明るくする運動推進委員会主催で「ひまわりコンサート」が開催されました。本校からは、吹奏楽部と箏曲部が出演いたしました。

校内では、先般、お知らせしたフラワーポットのひまわりが開花しています。ひまわりというと青空が似合いますが、雨に打たれたひまわりも、風情があります。



清瀬市 HP より
晴れ渡る青空と咲き誇る10万本のひまわり
(令和5年度清瀬ひまわりフェスティバル写真コンテスト市長賞作品)



7月8日(月)～12日(金)まで、図書室を会場にして、美術部展が開催されました。ここにも様々なひまわりにまつわる作品が展示されていました。



7月9日3年生が2人、ひまわりのように輝く笑顔で、校長室を訪ねてきました。「調理実習で私たちが作ったので食べてください。」手渡されたものは、ハツ橋です。完成度は高く、生地はもちもちしています。独特のニッキの香りがすると思いきや若干やわらかい香り。聞いてみると、シナモンを使ったとのこと。ニッキもシナモンも原料が「クスノキ科ニッケイ属の植物」という点は同じですが、品種と加工される部分が異なるようです。ニッキの特徴は、クセが強く、刺激的な辛みと甘い香り。シナモンも、ニッキに似た風味を楽しめるスパイスですが、辛みはわずかに舌に残る程度でニッキよりもマイルドなんだそうです。小生の周りにはニッキを苦手とする人が結構おりまして、ニッキに代えてシナモンでも、品物 になるなと感じました。



ひまわりはいつも太陽の方向を向いていることから「向日葵(ひまわり)」と呼ばれるようになった、という話は有名です。(実はヒマワリが動くのは花を咲かせる前の伸長成長をしているときで、ちょうど花を咲かせる頃に動かなくなるそうなのですが。)



外は今日も雨。清瀬中のひまわりは、生徒の生活する校舎に向かい花開いているように見えます。